

小湊小学校の今後についてのアンケート 集計結果

	合計
27年度までに天津小学校との統合	11
統合しないで存続	45
その他	10
合計	66

〔27年度までに天津小学校との統合〕

- ・統合しても地域の避難所として機能できるように耐震補強は行って欲しい。
- ・スクールバスのバス停は、もう少し増やして欲しい。(例えば奥谷の方に帰る人用に
大橋のところなど)
- ・あまりにも少人数過ぎる。
- ・今後、生徒数が減少していくことを考えたら、統合をプラスと考えます。そのかわり、
新しくスクールバスを作って、児童たちの自宅近くまで迎えに行けるようにするなど、
補助金を小湊地区の人達のために使ってほしいです。
- ・生徒数が少ないから。
- ・必ず統合というわけではありません。多数の意見の方に従います。ただ、子どものこ
とを考えると、目先のことで考えるのではなく、将来の進路の可能性から考
えれば、やはり人数が多い方がいいと思います。多くの人に関わる方が、子ども
であろうと大人であろうと勉強になるのは間違いありません。現状でもこんなに子ども
が少ないのであれば、もはや天津だ小湊だと言っている場合ではないと思います。こ
の先この子どもたちが地元に戻って暮らそうと思えるような町づくりから考えれば、
もっと大人の方が天津や鴨川に出て行き、その人たちとも意見を交わせるような環境
を作るという意味でも統合に賛成です。子どもたちは、与えられた環境の中でがんば
ればいいと思いますが、大人たちの方がもっと将来の小湊のことを考え、大きな視点
からこの問題を考えるべきだと思います。
- ・天津の方が海から遠いので、避難がはやくできる。私自身、1学年10人以下という
小学校(全校60人)で育ちました。そのときはよかったのですが(先生に運動や勉
強は丁寧にもてもらった)、中学、高校とあがっていくと、1学年300人以上とな
り、慣れないこともあった。運動会も人数が少なく、できないことも多い。PTA
も1人同時に何役もやったりと、そうなる仕事もできなくなる。
- ・やはり、子どもが少ない学校→分校のようになっては、よい先生はきません。保護者
の方が反対されているされている気持ちはわかります。しかし、これだけ少子化が進
んでは、統合は仕方ないのかなとも思います。
- ・できることなら、家からも近いので小湊小に通わせたいが、統合は避けられないと思
う。(児童数を見て)
- ・複式学級が発生している全校20名程度の小学校を知っていますが、地域の人が協力
してがんばっています。それに比べたら、小湊小学校はまだ人数が多いので存続で
きるのではないかと思います。しかし、この先、複式学級発生の可能性がありなら、天
津小学校との統合を考えた方が子どものためです。
- ・生徒数が減少しているため、統合は仕方ないと思います。しかし、登校などが心配で
す。しっかり決めていかないといけないと思います。
- ・私は、27年度までに統合ということが子どもたちにとっていいのかもしれないが、
通学の問題も出てくると思います。送り迎えやスクールバスといったことも考えてお
りましたが、多額のお金がスクールバスを使うとかかると思います。親の負担額より
鴨川市が借金だらけになるのでは?いい方向に学校ができればと思うが、そういうわ

けにはいきませんね。

〔統合しないで存続〕

- ・前の会でも意見として出されていましたが、災害時等、迎えが必要になった時、トンネルで通行止めになる可能性があること、低学年の子どもは親の手の届く範囲にさせたい。それに、このまま統合したら、耐震性がないようなことを言われている体育館を避難所としている幼稚園、保育園児たちはどうなるのでしょうか？統合するにしても活用されているのだから工事は必要だと思います。
- ・先日の意見交換会にも参加しましたが、まず、統合云々よりも、今通っている子がいる以上、早急に耐震工事をするべきだと思います。小湊地区の避難場所であるのに、統合次第で工事をするのか決めるのはおかしいと思います。資料を見ると、江見、太海、小湊と子どもが少なく、統合の話が出ているところは耐震されていない。統合どうのこうのと話し合っているうちに地震が来たらどうするかと怖く感じました。複式学級になることは、子どもにとってよいことだとは思えませんが、減ることを考え統合を考えるのではなく、これから小湊で子供が増えるための対策を考えてみるべきだと思います。
- ・耐震性など考えると、統合した方が安全なのかな？とは思いますが、必ずしもそうとはわかりません。正直、耐震補強工事を行い、できることなら小湊へ通わせたいですが。
- ・通学に不安を感じます。災害時の対応も心配。中学に行けば人数的なことはなんとかなるので、せめて小学校までは地元で地域の人とのつながりを広げていきたい。
- ・いずれは統合することもやむを得ないと思いますが、27年度までというのは早急すぎると思います。解決しなければならぬ問題たくさんあると思いますが。子どもがどんどん少なくなっていく中で、統合は仕方のないことかもしれませんが、地域や保護者にとって小学校が目が届かないところへ行くのは不安です。実入トンネル付近の環境をはじめ、災害が起こった際、学校は責任をもって子供を預かると言いますが、必ずしも学校が安全とは限らないし、たとえ死んでしまっても子と離れて死ぬのと一緒にいて死ぬのとでは気持ちの面で全く違います。統合うんぬんの前に、小湊小学校の耐震についてよく考えていただきたいです。次は、安房東中学校の改修が行われるそうですが（屋内運動場）、どう考えたって1日の大半を過ごす校舎を見て、一番IS値の低い小湊の校舎に予算を組むべきじゃないでしょうか。無理というなら、この間の話し合いの中で出された意見で、旧中学校の建物を使用できるようにしてください。教室が足りないということでしたが、技術室や特別教室うい移動するようにして等、子どもの安全のことを考えて安心して過ごせる環境にしていきたいと思います。何もしてくれないのは、小湊の子どもたちは犠牲になってもしょうがないといわれているみたいで嫌です。教育委員会の方は、検討して判断しますと繰り返すばかりで明確な返事がもらえません。耐震補強をするつもりはないのでしょうかね。統合するとなった場合の絶対条件として校舎を全く新しいもの、できれば場所も新しいところへ移転していただきたい。なぜなら、天津の中に吸収されれば、天津の子どもたちの保護者がどうしても強く出てくるのが目に見えるから。小湊の子どもたちがかわいそうです。みんな同じスタートラインに立たせ、同じく新しい環境で始められるようにしてください。新鴨川中も安房東もそうですよね。ですが、今統合することには反対です。小湊の子どもは小湊のみんなのあたたかい目の中で育てるべきです。統合の前に耐震問題をきちんとしていただきたいです。
- ・地域のつながりが弱まる。災害等、迎えが必要なとき、交通状況によって迅速な対応ができない可能性がある。統合したら一人ひとりの個々に応じたきめ細かい指導が難しい（集団の中で切磋琢磨することも大切だが、私は目の行き届いた指導を望みます）
- ・小学校のうちは、自分の足で登校してもらうのが一番いいと思います。正直、すごく悩み考えます。統合しないのが一番いいけど、このまま近い将来複式学級が発生するのは本当に子どもにとっていいのかどうか？正直悩みます。今の子どもたちや先生の

安全を第一に、すぐに耐震補強工事はしてほしいです。

- ・国の補助金が出るなら、県民の森辺りに幼保・小学校を作れたら1番よいと思う。(バス通学はやむを得ない)
- ・中学校(元)の校舎を使用できないのか?(耐震面でどうなのかわからないが)
- ・複式学級になることがなぜいけないのか?(いけないような書かれ方である)
- ・国庫補助金で速やかに耐震補強を行うべきである。
- ・耐震基準を下回っている学校に今現在通わせている状況を考えると、統合どうのという前に耐震強化を1日も早くして欲しいと思います。そして統合はせず、小湊小学校の存続を望みます。
- ・人数が多いにこしたことはないと思うのですが、今現在の人数が少ない中での小湊小学校のよさをとても感じているので(P T Aの雰囲気なども含め)、その中で我が子たちを育てていきたいと強く思います。ただ、この先生徒数が減少の一途をたどるのであれば、統合も仕方がないのかなとは思いますが…。
- ・震災の時、トンネル付近で通行止めになる可能性があるため、子どもの安否が気になる。
- ・学校が遠くなることによる通学中の事故や犯罪、生徒数が増えることによるいじめや暴力、先生の生徒一人ひとりへの気配りの低下が懸念されます。児童数が少なからずいるのに統合するのは『子どものため』ではなく『大人の都合』ではないでしょうか。児童数が少ない方が子どもたちにとってよいことがたくさんあると思います。
- ・通学の不便性。ゆとり・小湊っ子の育成を継続してほしい。
- ・統合をしてもよいことがない。
- ・確かに耐震については不安もあります。今のままでは危険だろうと感じていました。ただ、もし地震が起きたときに、すぐに迎えに行けるのは小湊小です。わが家は共働きのため、何かあったときにすぐに対応することが難しいので祖父母に頼んでありますが、幼稚園の子どももいるため、こども園に迎えに行き、次に天津小へ迎えに行くのはできないというか、時間的に無理だと思います。また、道も一本道なので渋滞になることが目に見えています。小湊小の耐震工事をしてほしいです。
- ・子どもの送迎も不安です。ただでさえ、今はいろいろな事件が相次いでいるのに、わざわざ自宅から離れたところに通わせるのは…。毎日家族が送迎できる環境があればいいですが、働いている以上できません。地域の方(知っている方)が近くにいる安心感も小湊(地元)に通っているからこそだと思います。知っている方が「今日は〇〇と帰ってきたよ」とか「〇〇は荷物をいっぱい持って帰ってきたよ」とか声をかけてくださいます。そういう声を聞くと、地域の方に守ってもらっていると感じます。子どもが少ないからこそ、地域の方たちと一緒に子どもを見守っていただける環境も必要だと。
- ・小湊中学校に移動すれば、耐震性もあるのではないのでしょうか。車を運転できない人もいるし、災害時は迎えにも行けない。
- ・小さい子どもの安全。江見地区の評判。
- ・天津小学校までの送迎、低学年がきちんとバスに乗れるかへの不安、乗り遅れたときの対応等。保育園、幼稚園の避難場所となっている校舎がなくなること。学童がないこと。町から子どもの声が聞こえなくなること、運動会等の行事には高齢者の方も進んで歩いて見に来ていただいているので。
- ・スクールバスでの登下校に不安がある(バス停での待ち時間、生徒の把握など)。災害時などの道路関係(実入トンネルが通れなくなった時など)。今一番必要なのは耐震補強だと思う。子どもたちの安全を考え、耐震補強をしてもらいたい。小湊地区の活性化のためにも、小学校は存続させて欲しい。耐震補強をして10年、統合できないなら、またそのときに統合を考えればよいのではないのでしょうか
- ・統合をただ反対と言っているわけではありません。天津が小湊に来る統合なら賛成ではありませんが、仕方がない…などと思います。でも、天津が小湊に来るなんて、絶対に天津が大反対でしょう。なぜ、天津も小湊もどちらかに統合することに反対するのかは、やはり地元を大切に思うからです。天津の人は天津地区を、小湊の人は小湊

地区を大切に思いたい。当たり前のことです。地域の子どもは地域で育てたい、大事に育てたい、基本的なことだと思います。2校が統合し、1学年が30～38人なんて大人数で、いいことあるはずない…。ぜひ天津地区の方にPTAに小湊に統合する案があることを伝えてください。小湊PTAだけじゃなく、同じように天津地区に統合案がある…と伝えて反応を見てください。みんな反対です。みんな同じです。

- 耐震等の問題はありますが、統合せず、ゆとりある教育を行っていただきたいと思ひます。
- 統合を考える前に、すぐにでも耐震補強工事を行うべきであり、優先順位を考えてもらいたい。
- 小湊小の先生方には個々に応じたきめ細かな指導をしていただき、子どもは毎日楽しく自信を持って通学している。そんな小湊小を存続していただきたい（小集団でも、充分個々の能力を引き出し、伸ばして下さっている）。
- 小学生にスクールバスでの通学は、生活習慣に大きく影響する（起床時間が早まる、バスに乗り遅れないように時間に追われることが予想される）。
- 天津小にスクールバスでの乗り入れが不可能（毎朝80人近い児童がバス停で降り、道路を横断しなくてはならないため、大変危険であるし、歩道も狭い）。
- 他の小学校より耐震工事が行われていないのは、統合の見込みがあるからと、小湊だけほったらかしのように思えてとても心配でたまりません。今、災害が起きたときのことをまず第1に考えていただきたい。実入のトンネル工事も終わっていない今、この話があるのはおかしいと思う。とてもじゃないが、災害時の迎への手段の道がたたれてしまった時、私たちの迎えを待つ子どもたちがかわいそうで、実入付近の回避路がない限り天津まで通わせることは考えられません。小湊小は守るべき。
- 小湊地区の子どもたちが少ないので、天津小学校の子どもたちと統合した方が校舎の耐震性も◎だし、体育館の耐震性も○なのでよいのですが、天津小体育館より小湊小体育館の方が新しいし明るいので、統合しないで存続してほしい。校舎や体育館の補強工事及び大規模改修してください。
- 引っ越してくる人がいなくなるから。
- 中学校になったら一緒になるので小学校の間は別々にした方がいいと思う。複式学級になったとしても、それなりのよさがあると思う。具合が悪くなったり、災害時の急な迎えに対応するのは大変だと思う。
- 何かを変えることはとっても勇気が必要です。天津小までの通学を考えるとなるべくならこのまま小湊小で通わせたい。でも、児童数や耐震などを考えるとやむを得ないことなのかなあとも思ひます。
- 江見地区と比較し、児童数の減少が著しいとは言えない。複式学級は避けたいが、一時的に複式学級ができては仕方がない。まず児童の安全・安心のために耐震化を第一にして検討すべき。耐震化の必要ない旧小湊中の利活用を検討すべき（8年間放置）。耐震化をすれば、起債償還のため10年くらいは廃校できないというが、その時点で統合を検討すればよい。海岸地区の住民の避難施設（津波タワー）としての役割を含めて耐震化を検討すべき。
- 中学も小学校も天津に行ってしまったら、小湊の町がとてもさみしくなってしまう。保・幼の子どもたちにとっても、お兄ちゃんやお姉ちゃんが全くなくなってしまうらどうなのでしょう。どうしても統合を！という意見であるなら、旧中学を使っても小湊小への統合を考えていただきたいと思ひます。または、運動会等だけ統合してやるならにぎやかになり楽しいと思ひます。人数が多ければ全てよしとはいかないと思ひます。
- 中学校がなくなり、さらに小学校がなくなったら、地域とのつながりも弱まり、活性化が図れないし、さびしいものです。
- まず、子どもたちの安全を考え、耐震を最優先とする。その後、（10年先になるかどうかかわからないが）統合については新たに考えていく。耐震を行った小湊小の利用方法はいろいろとあるのではないのでしょうか。（避難場所等、耐震を行ってなければ、非常に危険である）

- ・現在上の子が中学生でバス通をしています。家がバス停の近くならよいですが、結局甘やかしもあります、バス停まで毎日送っています。低学年の子にはきついと思います。高学年でしたら何とか。親もかなり負担があることを説明してあげてほしいと思います。
- ・地震が多く騒がれている今、道を造ってから統合の話を出すべきだと思います。緊急の場合、迎えに行くことになっています。そういう状態の場合、実入トンネルから先は不可能なので、まず、子どものことを考えてから話が出るべきだと思います。
- ・統合しないでこのまま存続してほしいです。まず1つめに、通学が心配です。上の子どもは6年生で、小学校も卒業しますが、まだ下に2人います。H27年度に統合するとしても長男は小学4年生、次男は2年生です。スクールバスがあったとしても毎日バスの時間に間に合うかどうか心配ですし、通学にも目が届かなくなると思います。あと、学校で、もし何かあっても（体調が悪いなど）車がないので、すぐには行けないので、やはり、できることなら統合しないで今のまま存続してほしいです。
- ・災害時、すぐに迎えに行けない。
- ・1番私が望んでいるのは、小湊地区の中で、高台で地盤のしっかりしている所に新たに建てて欲しいと思います。でも、現実的には、今の校舎の耐震をすぐ始めてもらって、このまま存続してもらいたいです。9月18日に参加して、複式学級が発生したとしても、その不安より統合することの方が嫌です。少ない人数でのデメリットより、小学生のうちには少ない子どもでも1人1人が声をかけ合ってふれあって低学年～高学年が仲良く毎日通ってもらうのがよいと思います。子どもは「宝」なので、民間の会社が給料も減った中、生活を維持しているのだから、私としては公務員である市役所関係の方の減額として耐震にあててもいいのじゃないかと思うくらいです。
- ・大勢の中で勉強することはすごくよいことと思いますが、小学校が天津へ行ってしまうと、スクールバスが出るとは思うのですが、低学年には通学が負担になると思います。小学校が統合してしまうと、いざという時、幼・保は困ってしまうと思います。地域活性化といいますが、地元から子どもたちの声が聞こえなくなるということは、すごく淋しいことだと思います。

〔その他〕

〔統合には賛成〕

統合については、児童数を考えると仕方がないと思いますが、中学校が天津地区に統合中があるので、小学校については小湊地区に統合小を置いてほしいと思います。自分の住んでいる所に、小学校も中学校も全てなくなってしまうのは寂しいです。

〔今現在どちらがよいとも言えない。どちらにしてもメリット・デメリットがある〕

別紙で読んだ意見のほとんどに同感させられた。小湊からバスが出るとしても、乗り遅れてしまった場合も大変だし、帰りにバスに乗り遅れてしまった場合も次のバス、または電車、または家の人のお迎えが来るまでの間、子どもだけで待たせることが心配。通学に目が行き届かないことに不安。耐震の件や複式学級の件を考えると、統合の案もいろいろと悩む所です。こども園だけで存続することも不安。小学生との交流も大切に思います。

〔まだ疑問なところがあったのでその他にしました〕

登下校はどうするのか？学童は続けるのか？

〔複式学級になってしまう時に改めて考える。今は統合反対です〕

耐震と統合は別の話と強調するならば耐震の低い小湊小を一番にやってほしい。学童がない段階での統合では仕事への影響が出てしまう。仕事をやめなくてはいけないのか？学童は学校とは関係なく保護者でたちあげたものなので、統合した場合また1から保護者がやらなくてはいけないのか。そういうことまでしっかりと計画し、負担を考えてから説明してほしい。人数が少ない＝競争心がない、という考えはおかしい。「まず統合、それから細かいことを決める！」では保護者の不安がなくなるわけではない！！あまりにも無責任ではないですか。

〔統合せず旧中学校を利用するのが望ましいと思います〕

人数の問題もありますが、幼保の一元化などにも取り組んできた小湊なので、できればこのまま小湊で子どもたちにも学んでいってほしい。耐震の面を考えても旧中学校がいいと思います。平成30年頃には推定で58名くらいになってしまうようですが、子どもの足で習える距離に学校があるのが理想だと思います。体力の面でも、親の安心の面でも人数が少なく、教員の人数確保が大変なこと、先生の仕事量が多いことも考えられますが、子どものために今の小湊で教育していただけることを希望します。そして、小湊こども園のように毎月避難訓練（火災・地震等）を行うなど、防災教育等も合わせていってほしいです。

〔統合するしない以前の問題〕

いつ大地震が起こるかわからないのに、統合するかもしれないという理由で耐震工事をやらないのはどうなのでしょう？子どもの安全が一番じゃないのでしょうか。統合するしないの前に、今すぐに何をしなくてはいけないのか考えてほしいです。

〔統合の必要もあると思うが、いろいろと不便や不安…他が出てくる心配もある〕

年々子どもの数が少なくなっていくのはわかるが、校舎の耐震もなく、古いのも気になるし、整備や規模など天津の方が多いのでそれはいいと思う。通学はスクールバスになり、乗り遅れれば親の負担が増える。何かと不便が出てくると思う。地域の方とのふれあいも減り、小湊地区での野外保育活動がなくなるのは嫌だ。複式学級は反対。やはり、1学年ずつの学習に取り組んでほしい。もし統合になるなら、小湊地区の保護者子どもたちの不便を減らすように取り組んでほしい。幼稚園についても現在あずかり保育など幼保一元化になり、よかったと思っているのにそれまで変えられてしまったら非常に困る。天津地区では、幼・保が離れており、一元化、あずかり保育にするとしたら工事をしなくてはいけないのでは？無駄な費用は使わなくてもよい。建物も幼・保ともまだ使える。小湊の幼・保も一元化に伴い、工事をしてもまだ年月も浅く、まだまだ使用できるし、保は天津より新しいのでやめてほしい。学校行事も小・幼・保が別々になると負担も増え、大変になる。

〔27年度まででは早いと思います〕

この先いつかは統合した方がよいことがあると思いますが、今現在統合する必要がないと思います（少なくとも27年度までには）。今必要なのは、小湊小学校に通う子どもたちが安全に過ごせるための耐震だと思います。

〔今はまだどちらともいえません〕

〔統合するにしても、小学校が天津では遠すぎるので小湊・天津間で新設はできないか〕

中学も天津になって、小学校も天津では低学年の子どもへの心配点もたくさんあると思うから。子どもたちを小湊小学校に通わせたいと思うのは当然のことですが、今のままでは耐震面等でも安全ではないし、津波がきたとしたら今の場所ではたぶん無理だと思います。短時間でできてしまう津波の場合、保育園・幼稚園の園児を含め、我が子が津波から走って逃げてる姿を想像するだけで怖くなります。